

会議プログラム

- 9:00-9:05 **開会**
- 9:05-9:10 **主催者挨拶**：笹川陽平 日本財団会長
- 9:10-9:20 **日本当事者団体挨拶**：矢吹康夫 立教大学助教、日本アルビニズムネットワーク
「日本におけるアルビニズム」
- 9:20-9:40 **概括説明**：イクポンウォサ・イロ アルビニズム問題国連独立専門家
「アルビニズムこれまでの取組みと今後の見通し」

セッション1 現実：我々の体験(9:40-12:00)

モデレーター：イサク・ムワウラ（上院議員、ケニア・アルビニズム・ソサエティ）

タンザニア

- 9:40-10:00 マリアム・スタフォード（当事者）
「マリアムの証言：キリマンジャロ山への挑戦」
通訳：ヴィッキー・ンテデマ（スワヒリ・英語）
- 10:00-10:10 ヴィッキー・ンテデマ アンダー・ザ・セイム・サン前タンザニア事務局長
「アルビニズムの人々と歩んだ10年間：課題と成功、今後に残されたこと」
- 10:10-10:25 質疑応答

マラウイ

- 10:25-10:40 ボンフェス・メサ マラウイ・アルビニズム協会 事務局長
「多角的な取組みの成功と限界：マラウイのケース」
- 10:45-10:55 質疑応答

モザンビーク

- 10:55-11:05 モウサ・エルカデウム ユネスコ(国連教育科学文化機関)・モザンビーク 代表
「これからの公共教育の役割：アルビニズムの人々の人権に関連して」
- 11:05-11:25 ウィリアム・トマス モザンビーク・アルビニズム支援協会 (ALBIMOZ) 代表
「モザンビークのアルビニズム問題の概括と今後の取組みに向けた助言」
- 11:25-11:40 質疑応答

国際的な見地から

- 11:40-11:55 ピーター・アッシュ アンダー・ザ・セイム・サン (UTSS) 代表
「インターナショナル・アクターの重要性について」
- 11:55-12:10 質疑応答

- 12:10-13:45 ランチ・ブレイク
- 12:20-13:00 **アルビニズムのジャズ・ミュージシャン コニー・チュウによる
ライブ・パフォーマンス 「LOVE IS HERE TO STAY」**

セッション2 政府の関与、法的及びその他の手段 (13:45-15:45)

- モデレーター： モウサ・エルカデム (ユネスコ・モザンビーク代表)
- 13:45-14:00 ジェイク・エペル ナイジェリア アルビノ財団 代表
「政府への働きかけ：その成功と課題」
- 14:00-14:15 質疑応答
- 14:15-14:30 ノマソント・メジブッコ
南ア・アルビニズム・ソサエティ代表、汎アフリカ・アルビニズム連合代表
「障害者の枠組みから：南アフリカのケース」
- 14:30-14:45 質疑応答
- 14:45-15:00 ムンビ・ングリ ケニア高等裁判所判事
「アルビニズム当事者の人権享受に向けて：判事、そして当事者として」
- 15:00-15:30 イサック・ムワウラ 上院議員、
ケニア・アルビニズム・ソサエティ コーディネーター
「ケニアの取組み：政府と市民社会の協力、その課題と機会」
- 15:15-15:30 質疑応答

15:30-16:15 コーヒー・ブレイク

セッション3 取組みの推進と持続可能性の構築 (16:15-17:30)

- モデレーター：イクポンウォサ・イロ (アルビニズム問題国連独立専門家)
- 16:15-16:30 伊藤大介 国際協力機構 (JICA)
「私のストーリー：タンザニアにおける経験」
- 16:30-16:45 コニー・チュウ
「可能性は無限：夢を叶えたモデル、ジャズシンガーのストーリー」
- 16:45-17:25 ディスカッション
- 17:25-17:30 閉会挨拶 樺沢一郎 日本財団常務理事

18:00-20:00 「WHITE EBONY」レセプション：写真家パトリシア・ウィロックを迎えて